

創立20周年

学校だより

町田市立小山ヶ丘小学校



おやまがおか

～全ては、子どもたちの笑顔のために！～

校長 大川 優

2024（令和6）年

9月2日 発行

第268号

〒194-0215 町田市小山ヶ丘五丁目37番 電話 042-770-6251 FAX 042-770-6258

「心のバリアフリー」

校長 大川 優

「パリ2024オリンピック」のあった特別な夏休みは、お子様にとっていかがだったでしょうか。「がおか」の卒業生である「なでしこジャパン」の一員、藤野あおば選手の活躍（初戦のスペイン戦で直接FKを決めた等）を喜び、チームの準々決勝惜敗に肩を落とした子どもが多かったと思います。オリンピックの熱き戦いを終えたパリでは、今、パラリンピックが開催されています。当初はリハビリテーションのためのスポーツだったパラリンピック。時を経るにつれ、出場者も車椅子使用者から対象が広がり、現在のような、大きな国際大会となりました。来年11月には、日本初の「デフリンピック」が東京で開催されます。100周年のメモリアル大会となる「東京2025 デフリンピック」には、聴覚に障がいのある選手が70以上の国から約3千人参加し、21種の競技で競い合うそうです。

小山ヶ丘小学校では、東京都教育委員会が策定している「人権教育プログラム（学校教育編）」に基づき人権教育を推進しています。4年生では、人権課題^{※1}「障がい者」について、総合的な学習の時間に、視覚障がいのある方との交流や点字体験、調べ学習を通じて、障がいのある方の生活等についての理解を深めています。

障がいのある方への偏見や差別意識は、自分自身が気付かないうちに、もってしまうことがあります。障がいのある方が、日常生活や社会生活を営む上においては、設備等の不備による「物理的なバリア」や、情報入手やコミュニケーションに係る「文化・情報面でのバリア」、心ない言葉、差別や偏見、無関心などに係る「意識上のバリア」等、様々なバリアがあります。これらのバリアを取り除き、様々な制限を受けないようにすることが求められます。私は、中でも「心のバリアフリー^{※2}」が最も重要であると考えています。

障がいは誰のせいでもありません。性別や身長、顔等がみんな違うのと同じです。障がいの有無に関係なく、本人が努力しても解決できない問題や場面においては、周りの友達や担任等の大人の行動や環境を整えることで、誰にとってもよりよい生活が送れるようになるはずです。このことは、本校の全教職員で実践している「特別支援教育^{※3}」のねらい、そのものでもあるとも言えます。子どもたちに、自分にとってだけでなく、みんなにとってよりよい社会であることが大切であることも理解させていかなければなりません。だからこそ、子どもたちの発達段階に合わせた人権教育の意図的・計画的な実践に努めています。

子どもたちの「笑顔」があふれる「がおか」とするためにも、人権教育をより一層推進し、「心のバリアフリー」を実現してまいります。皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※1…「女性」「子ども（いじめ、虐待）」「高齢者」「障がい者」「同和問題」「アイヌの人々」「外国人」「HIV感染者ハンセン病患者等」「犯罪被害者やその家族」「インターネットによる人権侵害」「北朝鮮による拉致問題」「災害に伴う人権問題」「ハラスメント」「性同一性障がい者」「性的指向」「路上生活者」（東京都人権施策推進指針より）

※2… 様々な心身の特性や考え方をもちすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと（ユニバーサルデザイン2020行動計画より）

※3…子ども一人一人の教育ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うこと（町田市特別支援教育ハンドブック 学級担任・教科担任向け版より）

学校給食費・前期教材費の引き落としについて

学校給食費の第4期と前期の教材費の口座振替日が9月30日(月)になっております。

支払い漏れや金額不足による口座振替不能となりませんよう、ご確認ください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。